



2019年10月29日

各位

会社名 株式会社 A i m i n g
 代表者名 代表取締役社長 椎葉 忠志
 (コード番号: 3911 東証マザーズ)
 問合せ先 経営管理グループ
 ゼネラルマネージャー 田村 紀貴
 (TEL. 03-5333-8424)

2019年12月期第3四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2019年7月26日に公表いたしました2019年第3四半期(2019年1月1日～2019年9月30日)の業績予想と実績を比較し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第3四半期(2019年1月1日～2019年9月30日)の業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円				円 銭
予想値(A)	4,248	△814	△825	△912	△26.00
実績値(B)	4,250	△666	△676	△764	△21.71
増減額(B-A)	2	148	149	148	—
増減率(%)	0.0%	—	—	—	—

2. 差異の理由

2019年7月26日公表の2019年12月期第3四半期の業績予想については、主力タイトルである『剣と魔法のログレス いにしへの女神』や『CARAVAN STORIES』のKPI推移が低調に推移していることを考慮したため、前四半期(2019年12月期第2四半期売上高1,362百万円)比で減収予想(2019年12月期第3四半期売上高1,286百万円)としておりました。また、コスト面においては、株式会社マーベラスとの共同開発タイトル『ログレス物語(ストーリーズ)』の事前プロモーションによる広告宣伝費の増加を見込んでいたため、営業利益についても、前四半期比(2019年12月期第2四半期営業利益△434百万円)で減益予想(2019年12月期第3四半期営業利益△439百万円)としておりました。

この度、2019年12月期第3四半期において、予想値と実績値の差異が生じたのは、主として、売上原価と販売管理費が想定を下回ったことが要因であります。

具体的には、『ログレス物語(ストーリーズ)』と受託タイトルにおいて、開発の遅延に伴うコストの一部を仕掛品へ計上したことにより、売上原価が減少したことと、『ログレス物語(ストーリーズ)』の配信開始時期が予想に比べて遅れたため、当四半期に予定していたプロモーション

ョン施策の一部が翌四半期に後ろ倒しとなり、広告宣伝費が未消化となったことから、販売管理費が減少したことが主な要因であります。

以上の2つの主な要因から、営業利益は予想値に対して148百万円上回りました。

営業利益が上回った結果、経常利益、当期純利益はともに当初予想を上回ることとなりました。

以上